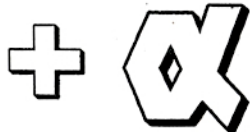


薬日新聞健康情報



プラス アルファ

No.51

UC-II

アメリカで臨床実績

1日10mg超、空腹の就寝前

いま、鶏の胸の軟骨から抽出された天然II型コラーゲンUC-II(ユーシーツー)に注目が集まっている。アメリカ・ハーバード大学医学部での臨床試験も実施され、「免疫系に直接作用して健全な関節を助長し、その可動性と可塑性(曲げ)を改善すること」で4件の特許を取得している。その動きのポイントはこれまでに困難とされてきたリウマチ様関節炎にも効果のあることだ。注目のUC-IIの特長を紹介する。

コラーゲンは人間・動物に存在するタンパク質で、皮膚・筋肉・骨など体の構成要素の一部。コラーゲンは繊維は、織物の繊維のように織り込まれていて、その中で新しい細胞が成長する仕組みになっている。一般的に人間の体はタンパク質からできていて、このタンパク質の新陳代謝の衰えが、老化の引き金になる。タンパク質にはコラーゲン(II型コラーゲン)と非コラーゲンタンパク質(I型コラーゲン)の二種類がある。新陳代謝を促進させ

るのに、より大切な働きを担っている。コラーゲンは皮膚や関節の重要な成分。異常な免疫反応を抑える働きも持っている。一般的にコラーゲンを食品成分として使用するには、高熱処理や加水分解され変性し、吸収率、還元率ともに低下する。つまり、コラーゲンが体内で効率よく吸収されるためには天然

リウマチ様関節炎にも効果があると注目 活性型天然II型コラーゲンUC-II

- ① UC-IIは世界唯一の活性型天然II型コラーゲン
- ② UC-IIは天然で副作用なし
- ③ 米のハーバード大で臨床実績
- ④ 予防から改善まで効果がある

ここがポイント

米ハーバード大での臨床試験

ハーバード大学医学部のトレンサム博士は、変性していない、すなわち天然のII型コラーゲンが免疫系に作用し、健全な関節を助長し可動性と可塑性を改善することを実証した。

① 臨床試験1

最初のハーバード試験で天然II型コラーゲンを3ヶ月間服用したリウマチ様関節炎患者10人中6人が著明改善、1人が完全回復を得た。さらに副作用は1例も発現しなかった。

② 臨床試験2

重篤なリウマチ性関節炎患者を被験者とする90日間の二重盲検プラセボ対照追跡試験において、天然II型コラーゲンを服用した28人がプラセボ群と比べて有意な改善を示し4人は完全回復を得た。

③ 臨床試験3

3番目のハーバード試験では、天然II型コラーゲんで3ヶ月間治療した若年性リウマチ様関節炎患者10人中8人で腫張し接触痛のある関節の症状が軽減した。

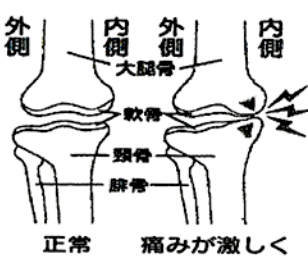
④ 臨床試験4

4番目のハーバード試験では関節炎患者54人を天然II型コラーゲんで治療した結果、21人に有意改善を認めた。

※これらの試験で特長的なのはきわめて顕著な有効実績を示したことに加え、副作用がみられなかったということである。

軟骨は骨格となる主要構成要素。異常な免疫反応を抑える働きも持っている。一般的にコラーゲンを食品成分として使用するには、高熱処理や加水分解され変性し、吸収率、還元率ともに低下する。つまり、コラーゲンが体内で効率よく吸収されるためには天然

加齢と共にすり減る軟骨



軟骨は骨格となる主要構成要素。異常な免疫反応を抑える働きも持っている。一般的にコラーゲンを食品成分として使用するには、高熱処理や加水分解され変性し、吸収率、還元率ともに低下する。つまり、コラーゲンが体内で効率よく吸収されるためには天然

で、しかも変性していないことが重要な決め手となる。UC-IIは鶏の胸の軟骨から抽出された天然II型コラーゲンで、世界で唯一無二の活性型コラーゲンとして注目を集めている。UC-IIの摂取により、関節に骨に重力、体重量などの負荷がかかっているのが軟骨だ。しかし加齢や負荷などにより軟骨が削られていき、最後には骨同士がぶつかりあい、痛みが増すことになる。しかし実際は骨同士がぶつかり合う前から痛みは起きており、これが「免疫系の誤認識」による関節への攻撃で、UC-IIはこれを未然に防ぐことによって関節を健全に保つのである。

「免疫系が関節を攻撃するのを防止できる」ことが明らかになっている。UC-IIの摂取により、関節に骨に重力、体重量などの負荷がかかっているのが軟骨だ。しかし加齢や負荷などにより軟骨が削られていき、最後には骨同士がぶつかりあい、痛みが増すことになる。しかし実際は骨同士がぶつかり合う前から痛みは起きており、これが「免疫系の誤認識」による関節への攻撃で、UC-IIはこれを未然に防ぐことによって関節を健全に保つのである。